

国登録有形文化財（建造物）
鹿児島県立博物館考古資料館
保存活用計画

令和4年3月
鹿児島県教育委員会

序 文

国登録有形文化財（建造物）「鹿児島県立博物館考古資料館」は、明治 16（1883）年に県の興業館として建設され、本県の産業振興施設としてその役割を担ってきました。また、太平洋戦争終戦後は県立博物館、県立博物館考古資料館として使用されてきており、鹿児島の近代化及び戦後復興の歴史を見守ってきた建造物であるといえます。

同館は、石造アーチ橋の文化圏にある鹿児島ならではの石造建築で左右対称を重視し、両側端に入口を設け、洋風を基調としながら、随所に和風モチーフの細部、それにインドのスツーパー風の高欄の擬宝珠を混在させた特異な建造物として知られており、かつ現存する鹿児島の石造建築としては、「旧集成館機械工場」（国重要文化財（建造物））について 2 番目に古い建造物であることから、その文化財的価値が認められ、平成 10 年に国登録有形文化財（建造物）となりました。

この計画は、国登録有形文化財（建造物）「鹿児島県立博物館考古資料館」の保存及び活用についての基本的な考え方についてとりまとめたものです。

今後、この計画に沿って、同館を鹿児島の建造物の魅力等について発信していく施設として適確に保存活用し、後世に伝えてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、御尽力いただきました旧考古資料館活用方針等検討委員会及び鹿児島県立博物館考古資料館保存活用計画策定委員会の委員の皆様、御指導・御助言を賜りました文化庁及び関係各位に対して感謝の意を表しますとともに、今後の本計画の実施につきましてなお一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和 4 年 3 月

鹿児島県教育委員会教育長
東條 広光

例 言

- (1) 本書は、鹿児島県鹿児島市城山町 1－1 に所在する鹿児島県立博物館考古資料館の保存活用計画である。
- (2) 本計画は、鹿児島県教育委員会が、令和 2 年度に設置した「旧考古資料館活用方針等検討委員会」からの提言を踏まえ、令和 2、3 年度に設置した「鹿児島県立博物館考古資料館保存活用計画策定委員会」における協議に基づき策定した。

旧考古資料館活用方針等検討委員会委員（6 人、五十音順、敬称略、◎は委員長）

◎木方 十根	鹿児島大学大学院理工学研究科教授
倉野 満	県観光連盟専務理事
酒匂 司	県歴史・美術センター黎明館館長
砂田 光紀	有限会社オフィスフィールドノート代表
永山 由高	鹿児島天文館総合研究所 Ten-lab 理事長
西 みやび	西みやび事務所代表

鹿児島県立考古資料館保存活用計画策定委員会委員（4 人、五十音順、敬称略、◎は委員長）

揚村 固	鹿児島県文化財保護審議会委員
木方 十根	鹿児島大学大学院理工学研究科教授
鈴木 敏之	県立博物館長
◎原口 泉	鹿児島県文化財保護審議会委員長

- (3) 本計画の策定に係る事務は鹿児島県教育庁文化財課が担当し、関連業務を株式会社修復技術システムに委託した。
- (4) 本書に使用した写真のうち特記のないものは、鹿児島県教育庁文化財課、株式会社修復技術システムが撮影したものである。
- (5) 本書に掲載した資料の使用は、所蔵先の許可を得た。
- (6) 本計画は、令和 4 年 4 月 1 日より施行する。

国登録有形文化財（建造物）
鹿児島県立博物館考古資料館
保存活用計画
目 次

序 文
例 言

第1章 計画の概要

第1節 計画の作成	1
第2節 文化財の名称等	1
第3節 文化財の概要	1
第4節 文化財保護の経緯	9
第5節 保護の現状と課題	9
第6節 計画の概要	11

第2章 保存管理計画

第1節 保存管理の状況	14
第2節 保護の方針	14
第3節 管理計画	36
第4節 修理計画	36

第3章 環境保全計画

第1節 環境保全の現状と課題	38
第2節 環境保全の基本方針	40
第3節 区域の区分と保全方針	41
第4節 建造物の保護の方針	43
第5節 防災上の課題と対策	43

第4章 防災計画

第1節 防火・防犯対策	46
第2節 耐震対策	53
第3節 耐風対策	60
第4節 その他の災害対策	60
第5節 今後の取り組みと防災対策	60

第5章 活用計画

第1節 公開及び活用の基本方針	61
-----------------	----

第2節	公開及び活用の概要	64
第3節	活用基本計画	66
第4節	実施にむけての課題	72
第6章	整備基本計画	
第1節	整備の基本方針.....	73
第2節	整備スケジュール	74
第7章	保護に関する諸手続	
第1節	登録有形文化財に関する諸手続	76

【図・表リスト】

第1章 計画の概要

図1-1 鹿児島県立博物館考古資料館の位置

図1-2 昭和43年（1968）博物館要覧の平面図

図1-3 考古資料館の屋根形状の変遷

図1-4 鹿児島市への外国人宿泊観光客数の推移（平成13年度～令和2年度）

図1-5 計画区域の位置

表1-1 鹿児島県立博物館考古資料館の変遷

第2章 保存管理計画

図2-1 部分の設定図 1階平面図

図2-2 部分の設定図 2階平面図

図2-3 部分の設定図 梁間断面図

図2-4 部分の設定図 桁行断面図

図2-5 部分の設定図 東側立面図

図2-6 部分の設定図 西側立面図

図2-7 部分の設定図 北側立面図

図2-8 部分の設定図 南側立面図

表2-1 部位設定表

表2-2 日常管理項目

第3章 環境保全計画

図3-1 鹿児島県立博物館考古資料館の環境

図3-2 区域区分

表3-1 区域の区分と保全方針

表3-2 建造物の区分と保全方針

第4章 防災計画

図4-1 防火管理区域

図4-2 1階避難経路図（火災時）

図4-3 2階避難経路図（火災時）

図4-4 1階消防設備計画図

図4-5 2階消防設備計画図

図4-6 耐震補強梁間断面図（A案）

図4-7 耐震補強桁行断面図（A案）

図 4-8 耐震補強 1 階平面図 (A 案)

図 4-9 耐震補強 2 階平面図 (A 案)

図 4-10 耐震補強梁間断面図 (B 案)

図 4-11 耐震補強桁行断面図 (B 案)

図 4-12 耐震補強 1 階平面図 (B 案)

図 4-13 耐震補強 2 階平面図 (B 案)

図 4-14 1 階避難経路図 (地震時)

図 4-15 2 階避難経路図 (地震時)

表 4-1 用途ごとの消防設備の設置義務

第 5 章 活用計画

図 5-1 敷地公開計画図

図 5-2 1 階公開範囲図

図 5-3 2 階公開範囲図

図 5-4 1 階動線計画図

図 5-5 2 階動線計画図

図 5-6 敷地整備図

表 5-1 活用のアイデアから想定される建築基準法上の用途

第 6 章 整備基本方針

表 6-1 整備スケジュール

第 7 章 保護に関する諸手続

表 7-1 届出が必要なもの

表 7-2 届出を必要としないもの



【2階ベランダの擬宝珠風装飾】



【1階内部北面】

